

社内に散らばったファイルサーバから
キーワードで一発ファイル検索！

Chimera Search: キメラ・サーチ

Windowsファイルサーバーのアクセス権対応
アクセス権のないファイルは検索結果に表れない



オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社

お問い合わせ info@osstech.co.jp

Chimera Searchとは

- SMBプロトコル、CIFSプロトコルをサポートしたサーバーであればWindowsマシン、Linux/UNIX/Mac OSマシンのコンテンツを検索できます。
- 社内に散らばった複数の(WindowsやSamba、NAS)ファイルサーバからキーワードで一発ファイル検索できるので、どのサーバにファイルを置いたか意識する必要はありません。
- 検索結果にユーザーがアクセス権を持たないファイルは表示されません。ファイルにアクセス権を適切につけておけば、検索でファイルの存在自体を知られる心配がありません。
- 検索結果のリンクを開けば、そのままファイル編集も可能です。
- 構築コンポーネントに以下のOSS(オープンソースソフトウェア)を利用しているため、安価に導入できるのに高性能・高機能を発揮します。
 - プログラム言語: RubyおよびRuby On Rails
 - 全文検索システム : Hyper Estraier
以下の特長を持っています。
 - インデックスを使った高速な検索ができます。
 - 大量の文書のインデックスを短時間で作成できます。
 - N-gram方式による漏れのない検索ができます。

Hyper Estraier単体に対する優位性

- キメラ・サーチは検索エンジンとして、Hyper Estraierを利用しています。
- お客様がHyper Estraierをファイルサーバに導入すれば検索のみの機能は実現できます。
- キメラ・サーチはHyper Estraier単体に対して以下の機能を追加しています。
 - Windowsファイルサーバのアクセス権限をチェックし、アクセス権のないファイルは検索結果に表示しません。
 - SMBプロトコル、CIFSプロトコルでサーバにアクセスするので、検索対象サーバにはキメラサーチは導入する必要はなく、既存のネットワークにキメラサーチのサーバをつなげるだけで、すぐ検索できます。
(対応するのがファイルサーバのみですが、安価なGoogle Mini代替ソリューションになります)

製品仕様

- 検索対象サーバー

- Chimera Searchはネットワークに接続された以下のファイルサーバーを検索できます。
※アクセス権によって検索結果が制御されますので、すべての検索対象サーバーは単一のWindowsドメインや相互に信頼関係を結んだWindowsドメインで構成されているのが望ましいでしょう。
- Windowsファイルサーバー
- Sambaベースのファイルサーバー

- 検索対象ファイル

Chimera Searchはファイルサーバー内の以下のファイルを検索できます。

- マイクロソフトオフィス Wordファイル
- マイクロソフトオフィス EXCELファイル
- マイクロソフトオフィス PowerPointファイル
- OpenDocument ファイル (OpenOffice.org, Sun StarSuite)
- PDFファイル、HTMLファイル、テキストファイル
- DucuWorksファイル

- インストール要件

Chimera Searchは以下のOSが稼働するマシンの上で動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 5.0 / 4.0
- CentOS 5 , 4

- ※2) Chimera Searchは検索対象のサーバーの上にインストールする必要はありません。もちろん、検索対象のSambaサーバーと同居してインストールすることも可能です。

キメラ・サーチ概要図

- ① 定期的にファイルサーバをアクセスし、インデックス作成
- ② 2回目以降は更新のあったファイルのインデックスのみ再作成
- ③ アクセス権のないファイルは検索結果に表示しない

キメラ・サーチ
サーバ
(Sambaサーバ
と共存可能)



Windows端末

- ① Webブラウザを使ってファイル検索
- ② リンクをクリックすると共有上のファイルを直接開いて更新可能

http

smb

smb

Sambaサーバ

共有フォルダ

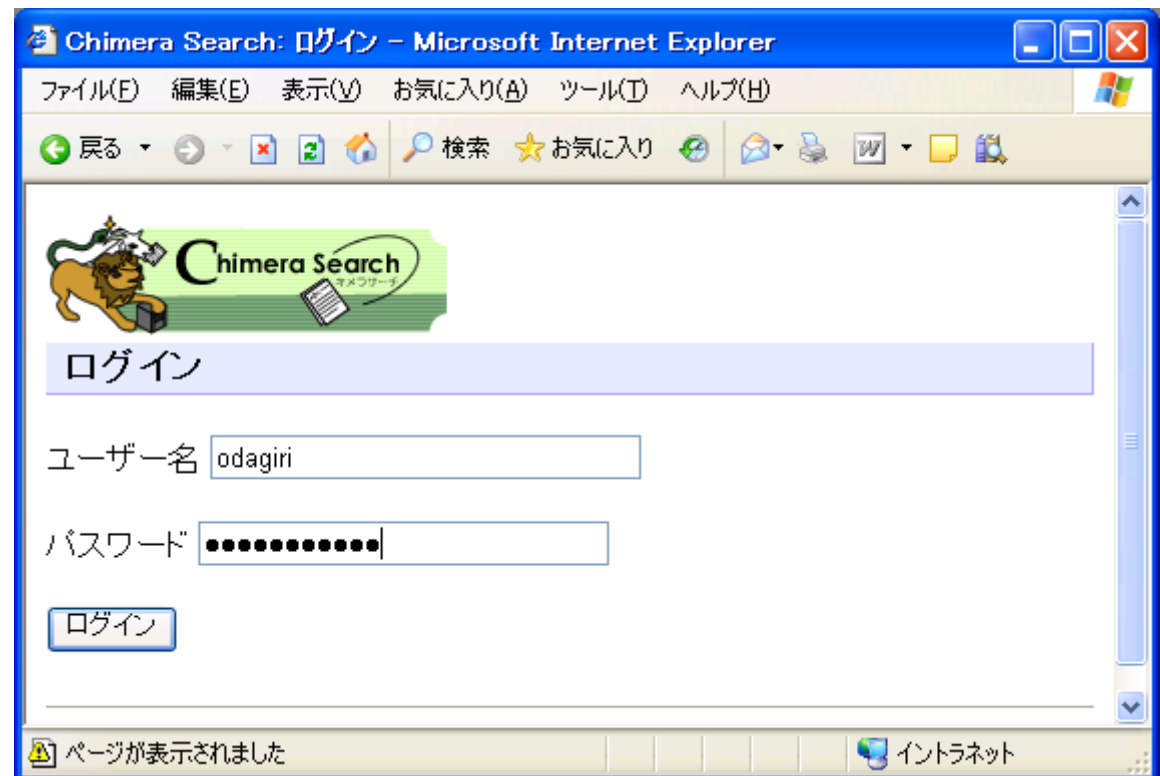
Windowsサーバ

共有フォルダ

イントラネット

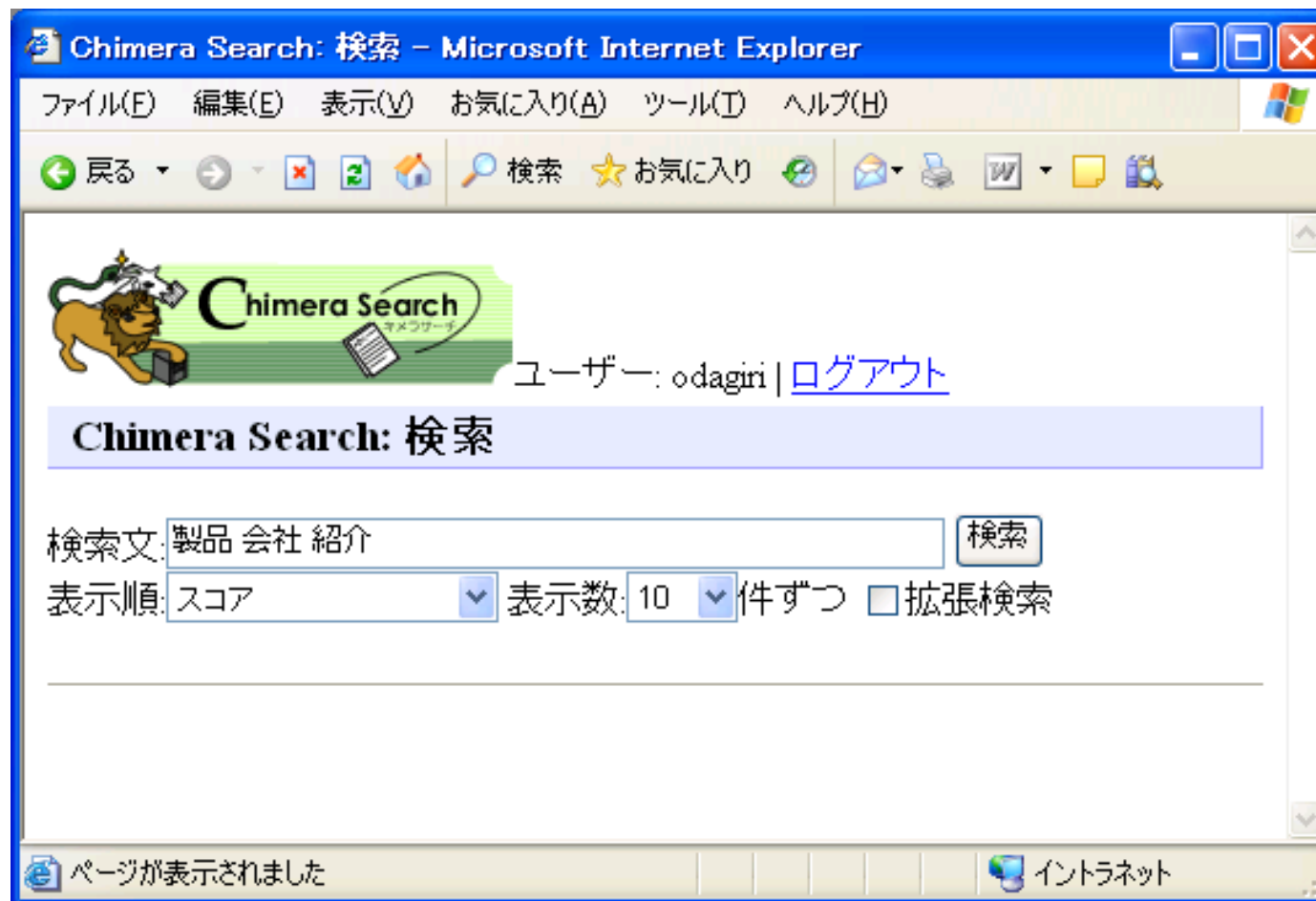
ログイン

- Chimera Searchはファイルのアクセス権をチェックして検索結果を制御しますので、利用するにあたってログインする必要があります。
- 検索結果から直接ファイルを開けるようにWindowsクライアントをドメインに参加させ、ドメインログオンする時と同じユーザー名、パスワードを利用することを推奨します。
- WindowsクライアントのWebブラウザからChimera Searchをインストールしたサーバーに以下のようにアクセスするとログイン画面が表示されます。
- ユーザー名にはWindowsドメインコントローラもしくはファイルサーバーに登録されているWindowsユーザーのアカウント名とパスワードを入力してください。



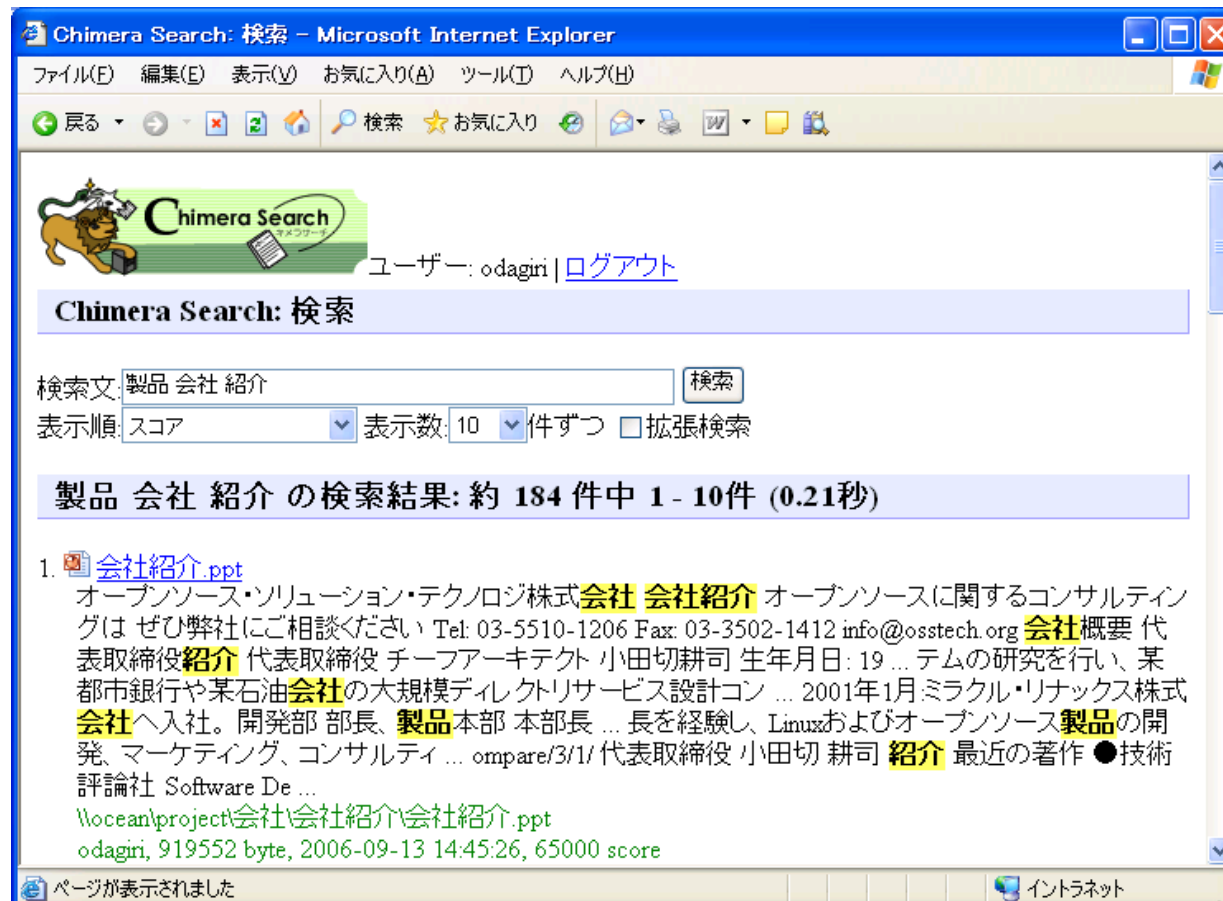
検索入力

- 検索分の中にキーワードを入力し、「検索」ボタンを押すと検索結果が表示されます。
- 表示順序として「スコア順」「更新日付順」「ファイル名順」「サイズ順」「所有者順」が選べます。



検索結果

- 検索キーワードは反転強調表示されます
- アクセス権の無いファイルは検索結果に表示されません。
- MSIEの場合、検索結果のリンクをクリックするとそのままファイルが開くことができ、ファイル更新するとファイルサーバー上のものを直接更新することができます。



拡張検索

- 検索画面の「拡張検索」ボタンを押すと検索文字列に加え、以下の条件を指定できます。
 - ファイル名:「*」と「?」を使ったワイルドカードで指定したファイル名のファイルを検索できます。
 - ファイルの所有者、ファイルの更新日、ファイルサイズ(K:キロバイト、M:メガバイトでも指定できます)

